

令和5年度 第2回

杉並区区政モニターアンケート  
「学校施設利用及び情報の公表・公開」について

集計結果報告書



令和5年8月実施

杉並区総務部区政相談課

## 「学校施設利用及び情報の公表・公開」について

### 調査の概要

#### 1 調査の目的

##### ◆学校施設利用について◆

区では、誰もが学びを通して自分らしく豊かに生きることができるよう、多様な交流・体験・学習活動やコミュニティ活動を推進することを目的に、学校を「学びのプラットフォーム」(※1)と位置づけて活用していくこととしています。こうした検討の参考とするため、学校施設利用に関するアンケートを実施することいたしました。

##### ※1 学びのプラットフォームとは

「人生100年時代」が現実のものとなりつつある今、誰もが自分らしく豊かに生きるためには、個人の「学び」にとどまらず、「学び合い」「教え合い」「かかわり合う」視点が欠かせません。そのためには、「学ぶ人が集まり、学び続けることの楽しさを持って学びの成果を互いに教え合う場」が必要であり、そうした場になり得るのが区の考える「学びのプラットフォーム」です。地域にあまねく存在する「学校」は、誰もが気軽に足を運ぶことのできる最も身近な公共施設であるだけでなく、多様な学びのニーズに応えられる機能を備えています。そのため、あらゆる世代の方の多様な交流・体験・学習活動やコミュニティ活動の場となり、それが子どもも大人も含めた多世代の「学び合い」「教え合い」「かかわり合い」に繋がっていくのではないかと考えています。

##### ◆情報の公表・公開について◆

区民との対話や議論のために必要となる区政の情報は、情報公開請求の手続きをしなくとも、常に公表されている状態が望ましいと考えます。このため、区では、より積極的に区民への公表・提供を進めていくため、区政情報の公表・提供に関する方針を定めるとともに、研修等により職員に周知徹底することによって、積極的な情報公表等を行う気運を高めていくこととしております。今後、区政情報の公表等を推進するため、現在の区政情報の公表状況に対する評価、情報公開制度の認知度等に関するアンケート調査を実施すること

#### 2 調査期間

令和5年7月31日～令和5年9月20日

#### 3 対象者(区政モニター)

200人

#### 4 回答者数

171人(=n) 回答率85.5%

#### 5 回答者構成

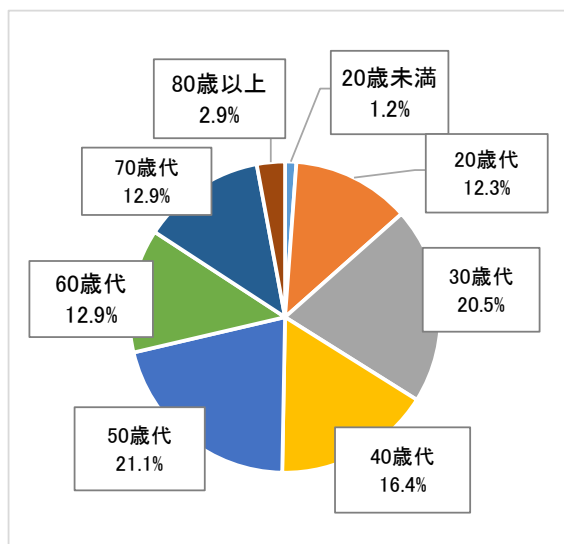
単位:人

〈年代別構成〉	20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上	合計
人数	2	21	35	28	36	22	22	5	171
割合	1.2%	12.3%	20.5%	16.4%	21.1%	12.9%	12.9%	2.9%	100%

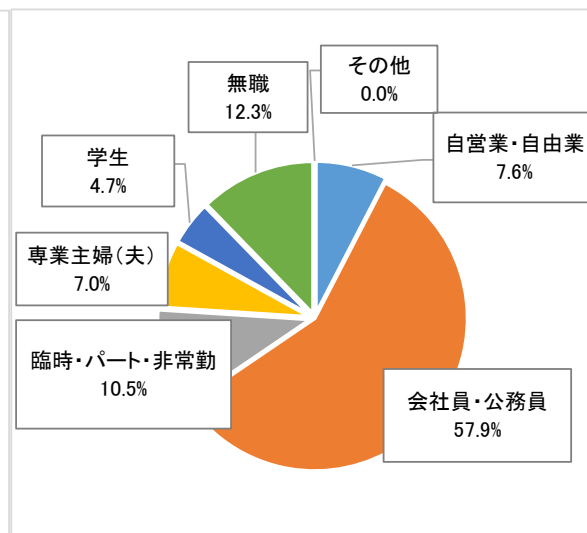
単位:人

〈職業別構成〉	自営業・自由業	会社員・公務員	臨時・パート・非常勤	専業主婦(夫)	学生	無職	その他	合計
人数	13	99	18	12	8	21	0	171
割合	7.6%	57.9%	10.5%	7.0%	4.7%	12.3%	0.0%	100%

〈年代別構成〉



〈職業別構成〉



〈居住地別構成〉

地域名	住居表示の町名	人数	割合
1 井草地域	井草、上井草、下井草	16	9.4%
2 西荻窪地域	上荻、松庵、善福寺、西荻北、西荻南	25	14.6%
3 荻窪地域	天沼、今川、荻窪、清水、本天沼、南荻窪、桃井	37	21.6%
4 阿佐谷地域	阿佐谷北、阿佐谷南、成田西、成田東	26	15.2%
5 高円寺地域	梅里、高円寺北、高円寺南、堀ノ内、松ノ木、和田	20	11.7%
6 高井戸地域	上高井戸、久我山、下高井戸、高井戸西、高井戸東、浜田山、宮前	30	17.5%
7 方南・和泉地域	和泉、永福、大宮、方南	17	9.9%
合 計		171	100%

◆基本事項についてお聞きします。

問1 あなたの年齢をお答えください。

問2 あなたの職業をお答えください。

問3 あなたのお住まいの地域をお答えください。

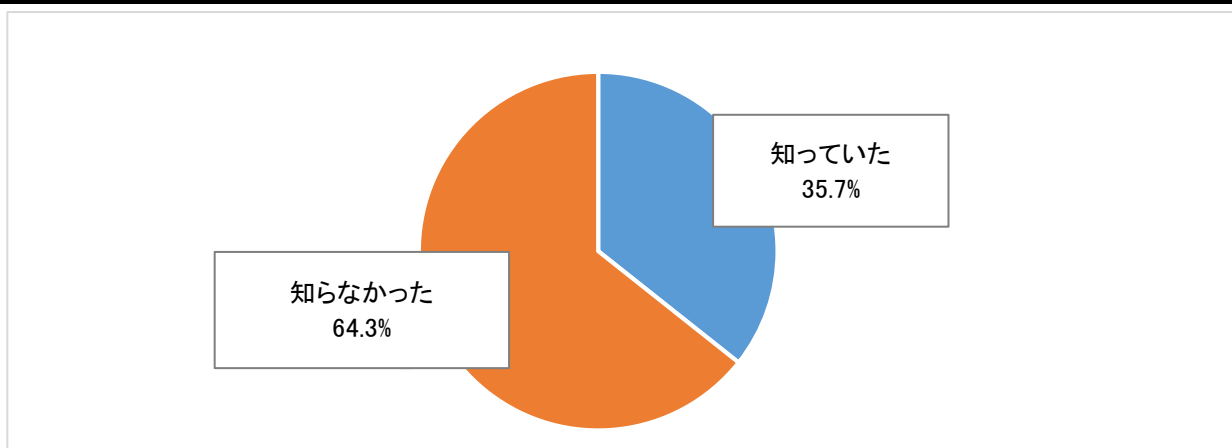
※問1～問3の結果については、上記『調査の概要「5 回答者構成」』のとおり

◇《学校施設利用》について

問4 学校施設は「地域に身近な公共財」として、区民が利用できることを知っていましたか。（○は1つだけ） 必須

n= 171

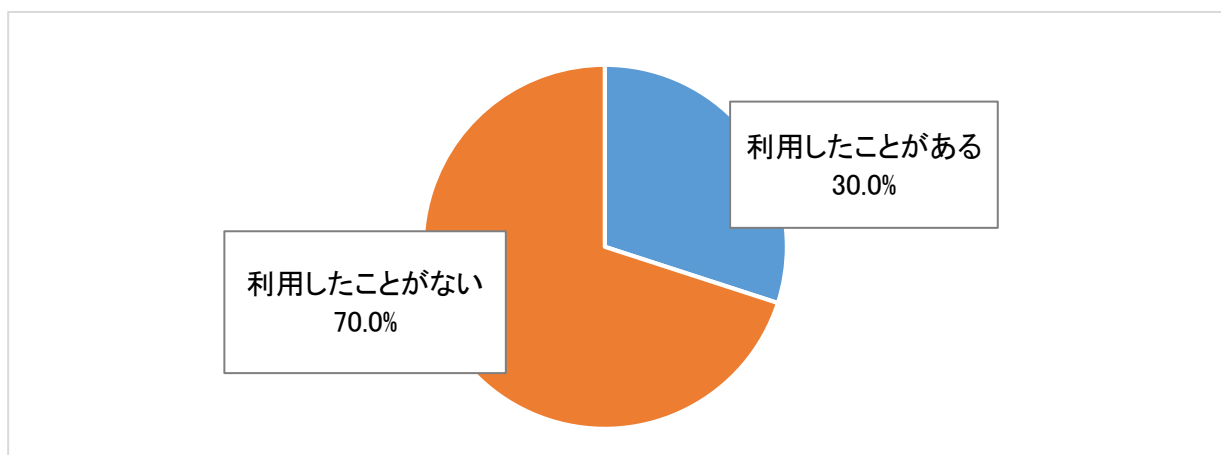
	全体		10・20代	30・40代	50・60代	70歳以上
知っていた	61	35.7%	8	14	28	11
知らなかった	110	64.3%	15	49	30	16
合計	171	100%	23	63	58	27



問5 （問4で「知っていた」と回答した方へ）61人中が60人回答  
これまでに保護者としてではなく、学校施設を利用したことがありますか。（○は1つだけ）

n= 60

	全体		10・20代	30・40代	50・60代	70歳以上
利用したことがある	18	30.0%	2	1	12	3
利用したことがない	42	70.0%	5	13	16	8
合計	60	100%	7	14	28	11

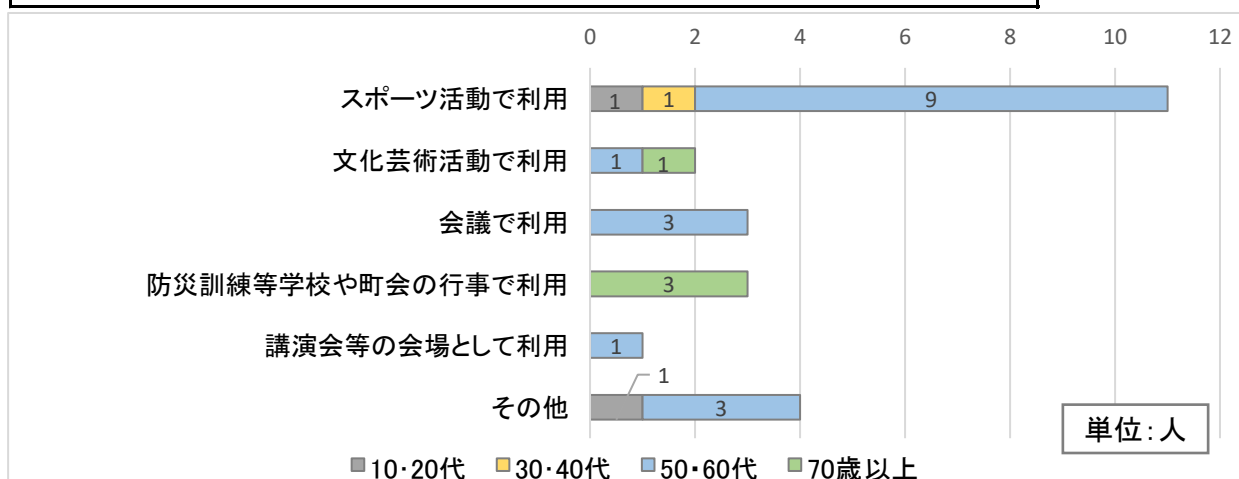


問5-1 (問5で「利用したことがある」と回答した方へ)  
利用目的は何ですか。(該当するものすべてに○)

n = 18

	全体		10・20代	30・40代	50・60代	70歳以上
スポーツ活動で利用	11	61.1%	1	1	9	0
文化芸術活動で利用	2	11.1%	0	0	1	1
会議で利用	3	16.7%	0	0	3	0
防災訓練等学校や町会の行事で利用	3	16.7%	0	0	0	3
講演会等の会場として利用	1	5.6%	0	0	1	0
その他	4	22.2%	1	0	3	0

その他:お花見、選挙、選挙の投票所として利用、地域クリスマス懇親会

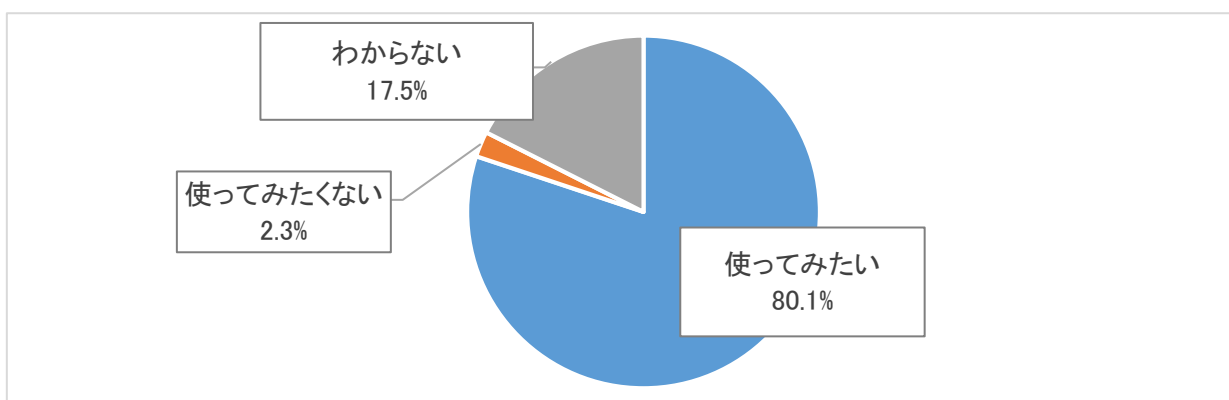


◇ここからは、「学びのプラットフォーム」(多様な交流・体験・学習活動やコミュニティ活動を通して、子どもも大人も含めた多世代の「学び合い」「教え合い」「かかわり合い」に繋がっていくような場)としての学校施設利用に関して伺います。

問6 今後、多様な交流・体験・学習活動やコミュニティ活動の場として、学校施設を使ってみたいと思いますか。(○は1つだけ) 必須

n = 171

	全体		10・20代	30・40代	50・60代	70歳以上
使ってみたい	137	80.1%	17	44	53	23
使ってみたくない	4	2.3%	1	2	0	1
わからない	30	17.5%	5	17	5	3
合計	171	100%	23	63	58	27

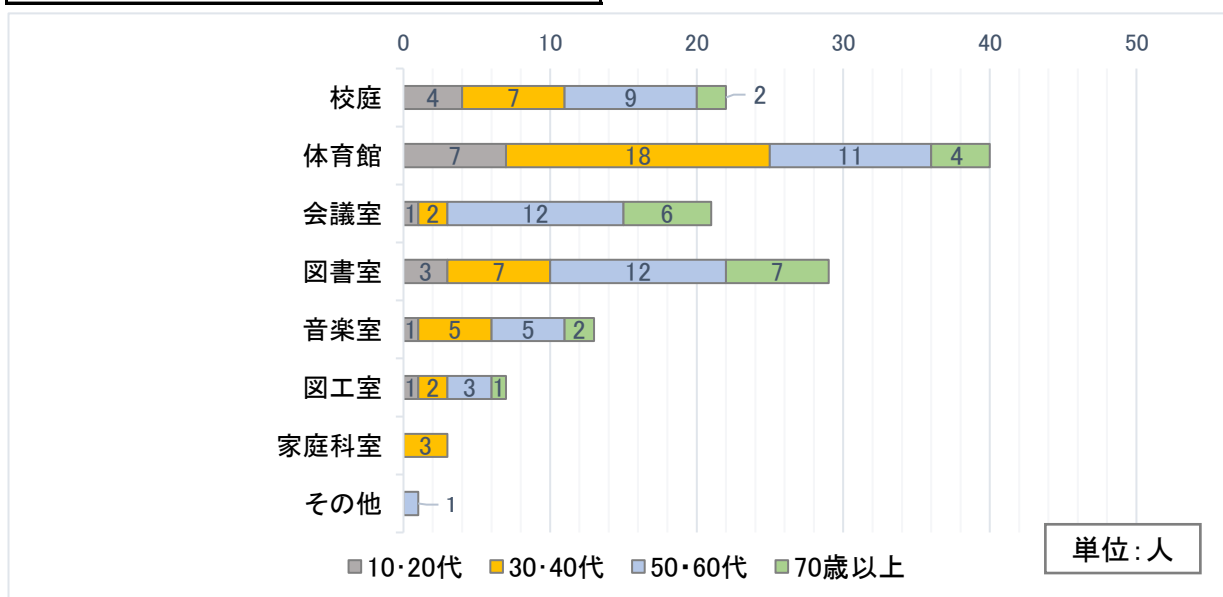


問6-1 (問6で「使ってみたい」と回答した方へ)137人中が136人回答  
 学校施設の中で、今後あなたが一番使ってみたい施設はどれですか。(○は1つだけ)

n= 136

	全体		10・20代	30・40代	50・60代	70歳以上
校庭	22	16.2%	4	7	9	2
体育館	40	29.4%	7	18	11	4
会議室	21	15.4%	1	2	12	6
図書室	29	21.3%	3	7	12	7
音楽室	13	9.6%	1	5	5	2
図工室	7	5.1%	1	2	3	1
家庭科室	3	2.2%	0	3	0	0
その他	1	0.7%	0	0	1	0
合 計	136	100%	17	44	53	22

その他:テニスコート



問6-2 (問6で「使ってみたい」と回答した方へ)  
 問6-1で回答した施設で、どのような活動をしたいですか。(○は1つだけ)

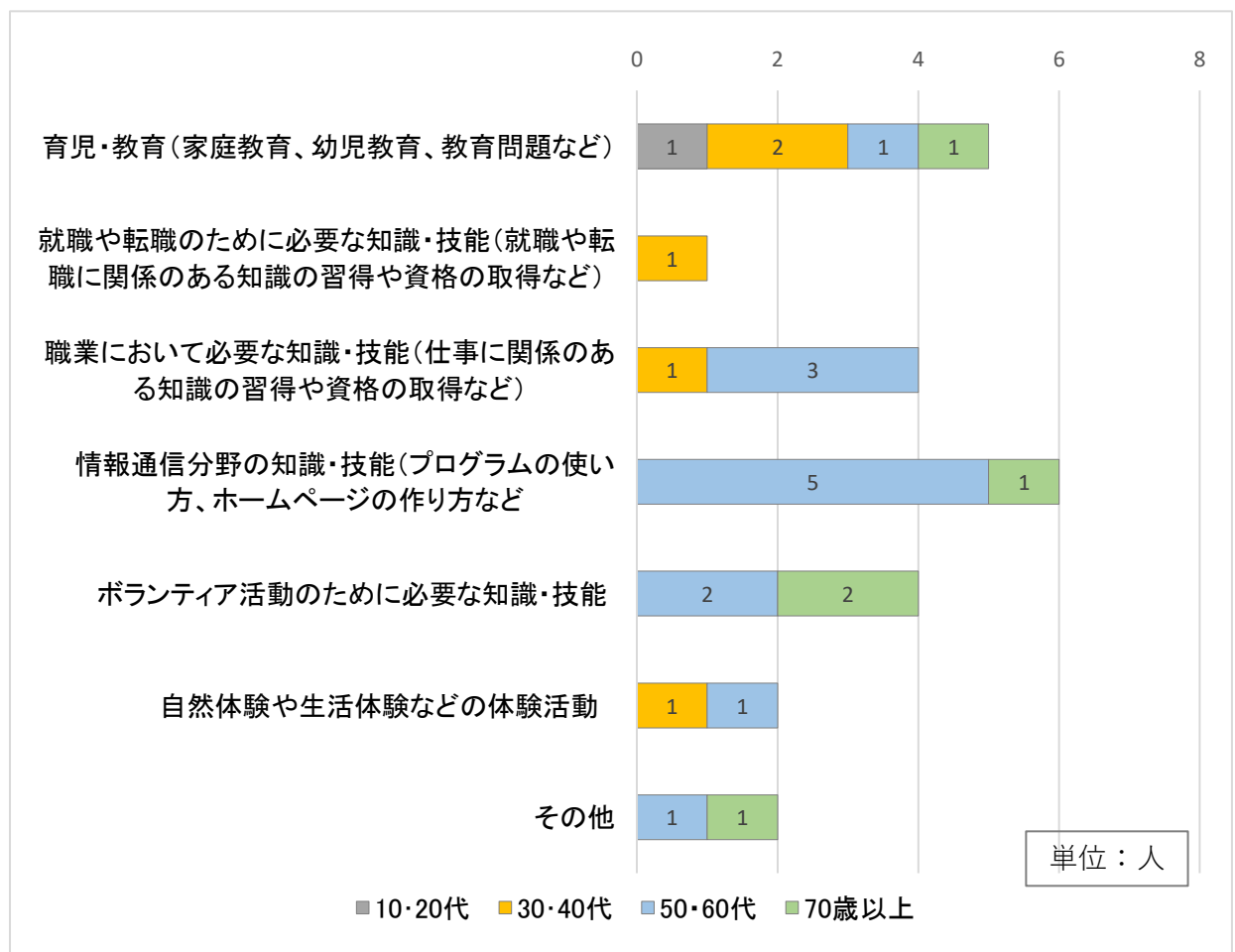
n= 137

	全体		10・20代	30・40代	50・60代	70歳以上
趣味的なもの(音楽、美術、華道、舞踊、書道、レクリエーション活動など)	30	21.9%	3	14	10	3
教養的なもの(文学、歴史、科学、語学など)	26	19.0%	3	6	12	5
社会問題に関するもの(社会・時事、国際、環境など)	4	2.9%	0	0	1	3
健康・スポーツ(健康法、医学、栄養、ジョギング、水泳など)	50	36.5%	10	18	17	5
家庭生活に役立つ技能(料理、洋裁、和裁、編み物など)	3	2.2%	0	1	0	2

育児・教育(家庭教育、幼児教育、教育問題など)	5	3.6%	1	2	1	1
就職や転職のために必要な知識・技能(就職や転職に関係のある知識の習得や資格の取得など)	1	0.7%	0	1	0	0
職業において必要な知識・技能(仕事に関係のある知識の習得や資格の取得など)	4	2.9%	0	1	3	0
情報通信分野の知識・技能(プログラムの使い方、ホームページの作り方など)	6	4.4%	0	0	5	1
ボランティア活動のために必要な知識・技能	4	2.9%	0	0	2	2
自然体験や生活体験などの体験活動	2	1.5%	0	1	1	0
その他	2	1.5%	0	0	1	1
合 計	137	100%	17	44	53	23

その他:

- ・健康寿命の延伸や福祉に関する情報公開や、講演会、講習会
- ・同窓会の打合せ、クラブ後輩との意見交換会開催



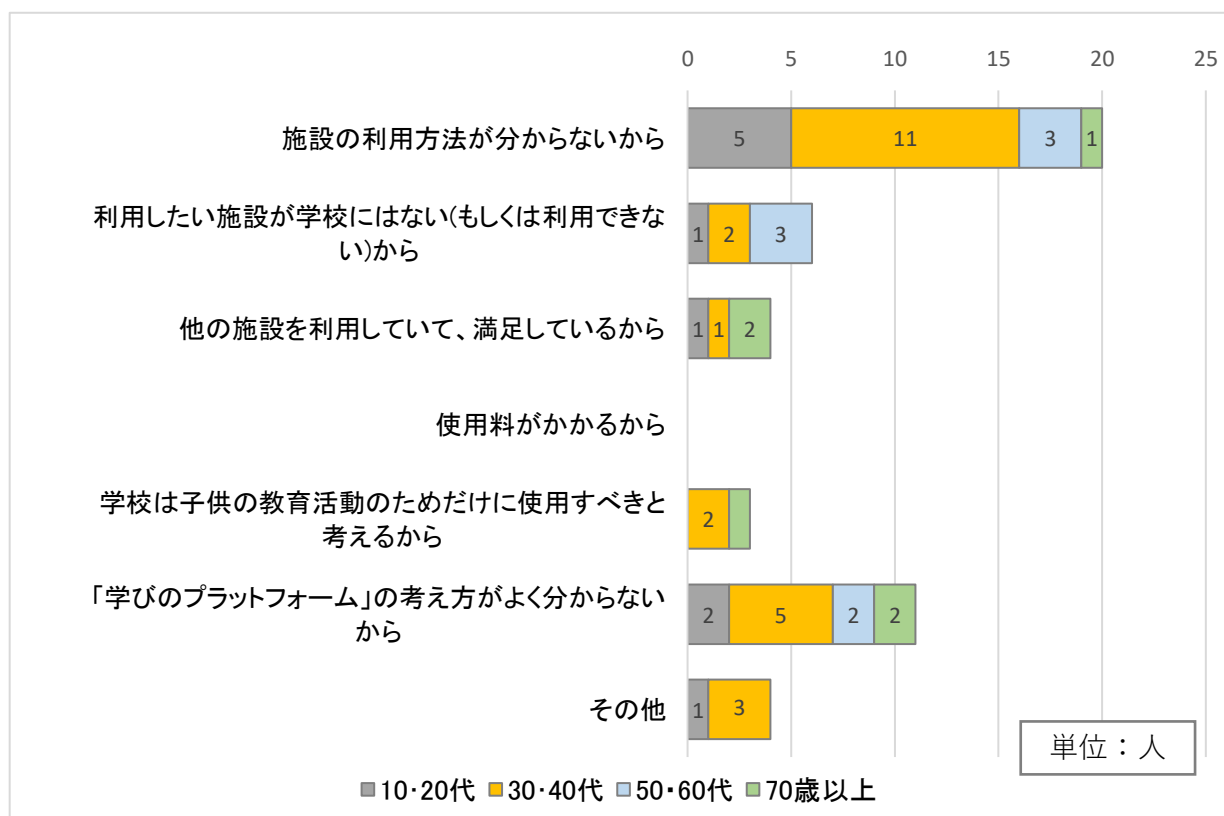
問6-3(問6で「2 使ってみたくない」または「3 わからない」と回答した方へ)  
その理由は何ですか。(該当するものすべてに○)

n= 34

	全体		10・20代	30・40代	50・60代	70歳以上
施設の利用方法が分からないから	20	41.7%	5	11	3	1
利用したい施設が学校にはない(もしくは利用できない)から	6	12.5%	1	2	3	0
他の施設を利用して、満足しているから	4	8.3%	1	1	0	2
使用料がかかるから	0	0.0%	0	0	0	0
学校は子供の教育活動のためだけに使用すべきと考えるから	3	6.3%	0	2	0	1
「学びのプラットフォーム」の考え方がよく分からないから	11	22.9%	2	5	2	2
その他	4	8.3%	1	3	0	0

その他:

- ・使う機会が無い。
- ・学校施設を使いたいから学習しようとは思わなくて、学習したい講座があった上でそれが学校施設でやっていけば行くと思う。学習に適した場所ならどこでも良い。
- ・学校の掲示板等に張り出されているのを見た事ないから。
- ・具体的になにがどのように利用できるか理解していないから。

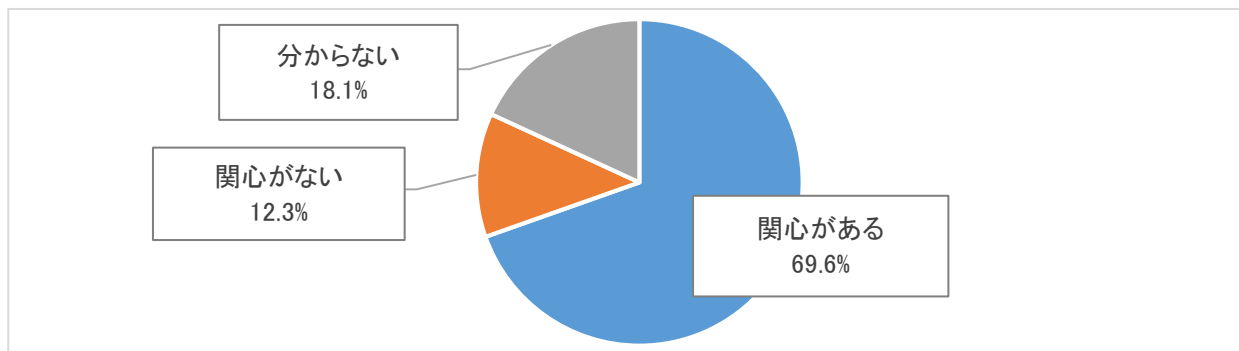




問7 ご自身が身に付けている、またこれから身に付けるであろう経験や知識・技術を誰かに教えたり、共有したりすることに関心はありますか。(○は1つだけ) **必須**

n= 171

	全体		10・20代	30・40代	50・60代	70歳以上
関心がある	119	69.6%	14	41	41	23
関心がない	21	12.3%	4	8	8	1
分からない	31	18.1%	5	14	9	3
合計	171	100%	23	63	58	27

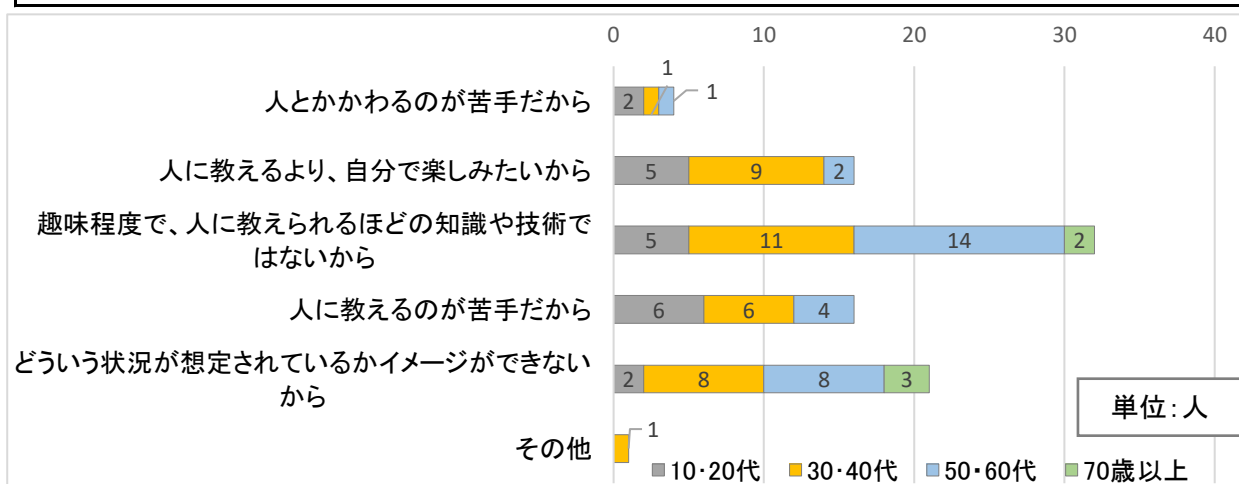


問7-1 (問7で「関心がない」または「分からない」と回答した方へ) その理由は何ですか。(該当するものすべてに○)

n= 52

	全体		10・20代	30・40代	50・60代	70歳以上
人とかかわるのが苦手だから	4	7.7%	2	1	1	0
人に教えるより、自分で楽しみたいから	16	30.8%	5	9	2	0
趣味程度で、人に教えられるほどの知識や技術ではないから	32	61.5%	5	11	14	2
人に教えるのが苦手だから	16	30.8%	6	6	4	0
どういう状況が想定されているかイメージができないから	21	40.4%	2	8	8	3
その他	1	1.9%	0	1	0	0

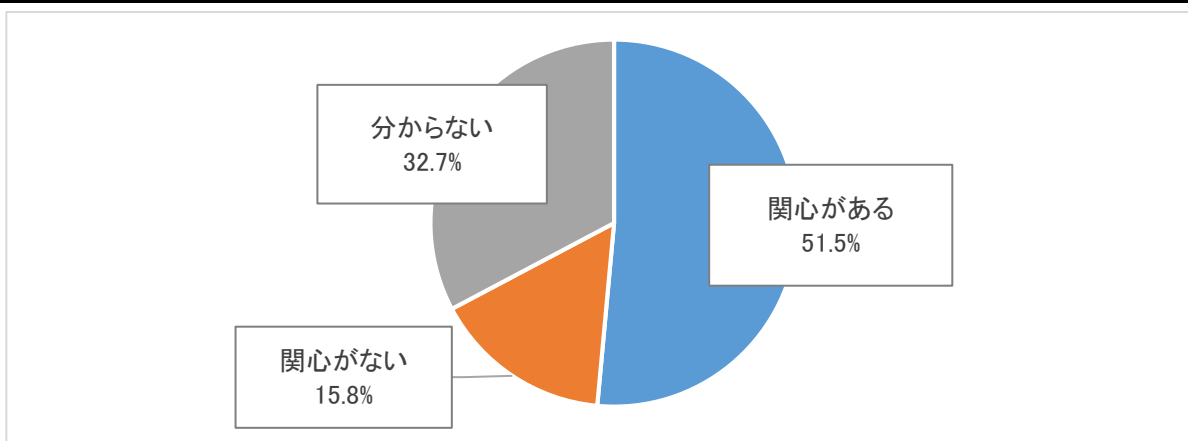
その他: 適当に質問に答えるだけで良いなら良いが、きちんと教えるにはそれなりの準備等が必要で大変そう。



問8 ご自身が身に付けている、またはこれから身に付けるであろう経験や知識・技術を生かして児童・生徒などの多世代と一緒に活動することに関心がありますか。(○は1つだけ) 必須

n= 171

	全体		10・20代	30・40代	50・60代	70歳以上
関心がある	88	51.5%	11	29	30	18
関心がない	27	15.8%	7	11	8	1
分からない	56	32.7%	5	23	20	8
合計	171	100%	23	63	58	27



問8-1 (問8で「関心がある」と回答した方へ)  
児童・生徒などの多世代とどのような活動が可能と考えますか。(自由記述)

**【共に学ぶ中で】**

- ・ 社会で生きていく中での実体験とそこからの学びを伝えていくこと。
- ・ 多くの世代の考えや感性の共有。
- ・ 「2分の1成人式」、いわゆる10歳という大きな節目に、いままで愛される存在であったこと、これから社会に広がりができることができることに気づく機会になるようなイベントを行う。
- ・ インクルーシブな社会にすること、すべての人は同じように生きる権利を持ち、基本的人権を守り、当たり前前の生活を送ることができる社会にする、いじめのない社会にするという考えを生徒児童と共有していきたい。
- ・ 人と接するのが苦手な生徒に対してコミュニケーション力をのばすきっかけとして話し相手などになり社会との関わり方を少しずつ教えていくような活動ができたらと思う。
- ・ 今の子供たちに避けて通れないフェイクニュースの見破り方など、スマホ世代だからこそ必要な、情報リテラシーや民主主義リテラシーのあり方を、私の職業キャリアから教えたい。

**【技術指導】**

- ・ 絵を描くのが好きなので、児童・生徒たちと一緒に絵を描きたい。
- ・ デザインに関する活動。
- ・ 短時間でできる物作り。
- ・ DIYのノウハウや技術を共有する。
- ・ 洋裁指導者の知識と経験があるのでそれを生かせる機会があればとても嬉しい。
- ・ 映像制作を教えたい。
- ・ 調理実習、食育に関わるもの。

- ・ 都会の子どもたちは同世代、もしくは親世代との接点はあるとしても他の年代とのつながりは希薄かもしれない。活動を通しての異世代との交流というのが有意義な点だと思います。料理、園芸、工作、絵画など。
- ・ スポーツを共にする。
- ・ スポーツクラブによる活動  
特に少年時代より野球を主に取り組んできており、技術や知識には長けていると思う。そういった技術や知識を広げることでより楽しく活動をしていくことが重要であると考えます。  
スポーツにおける勝ち負けは人格形成においても重要で勝ち負けから得られる事、団体スポーツから得られる経験は貴重なものと考えます。
- ・ 野球経験を活かし、母校の協力の元、コーチとして野球を教えていました。教員の働き方改革により、部活動の顧問が外部委託になるところも多い中、私の活動の範囲が広がればと思う。
- ・ 昔はどこでもでき活動が今はなかなかできない。(理由は公園などでは球技が禁止になっていたり、世代間もコミュニケーションが希薄になっていたり…)ため、身近なスポーツなどを一緒にやれればと思っている。
- ・ お年寄りの方の合唱のピアノ伴奏
- ・ 音楽を通じた各世代との交流(他1件)
- ・ 茶道体験
- ・ 自身の趣味や経験・関心ごとに関する体験や学びの会などがあってもいいと考えている(自転車、山、キャンプ、スキー、など)  
特に、日常的な生活における安心・安全に関する共創教育は、今後より必要になってくると思っている(自転車)

### 【学習指導・講座等】

- ・ 勉強が分からない生徒や児童の助けをしたり、一緒に調べたり、誰でも来れる塾のような場所ができたらと思う。
- ・ 多世代と一緒にできる活動や学びを通して、お互いに足りないものを補い、交流できると思う。
- ・ 一緒に学ぶ。  
コミュニティの場として季節毎のイベントとして一緒に準備から参加する。
- ・ 加速する少子高齢化のなかで、多様化する国際社会に对应できるグローバル人材育成教育活動、インバウンド対応・国際交流活動、SDGs対応推進活動等。
- ・ 私は漢方薬剤師の資格を持っている。漢方はセルフメディケーションを主としていますので、小さいときからそのような考えや知識を共有できたらと思う。
- ・ 弁理士をしているため、知的財産に関する授業等を行うことが可能と考える。
- ・ 日本語を外国籍の人(主にビジネスパーソン)に教える仕事をしているので外国籍の児童、日本語が不自由な大人の方に日本語を教えられる、日本語のサポートができるかもしれない、と思っているが、教育現場(特に小学校)での指導は自信がない。
- ・ 外国人との実践的なコミュニケーション活動。
- ・ 自身で持つ学術の知識を活かして、図書館という学術に満ちた空間で、幅広い年代と交流を図る事は大変有意義と考える。
- ・ 文学、歴史、社会(国際関係を含む)の事柄を分かり易く子供たちに伝えていくことが、教える方、教わる方の両者にとって良い刺激になる。特に教える方(老年者)にとって生きがいにもつながると思う。もちろん、教える方の教える内容、教え方についても事前に練習を含め教える方々のグループ内での準備作業が別途必要となるだろうが、まずは老年者で共通の事柄について語り合う場を設け、そこから少しずつ活動を展開し子供たちに伝えることを始めることが良いのではと考える。

### 【地域活動】

- ・ 人のために役立つこと。  
応急手当てや、街中で困っている人がいたら助け合いの心得等を教育する。(ボランティア精神等)
- ・ 祭り、ボランティア、といった地域活動と一緒にすることで、地域への貢献度を高める。
- ・ 防災活動。災害時の勉強、知識。
- ・ 環境保全や商店街振興などの地域に根差した活動。
- ・ 地域のお祭りなどで児童と一緒に活動する。防災などの訓練を地域のみならず。

- ・ 防災面での地域活動で平日日中などで会社員が都心部への出勤などで、児童・生徒のそばに居ない時間が非常に長い。この場合、震災などで帰宅できない場合、多くの児童・生徒をサポートする体制が必要になる。しかし大人のリソースが期待できない以上、児童・生徒がある程度、自助共助までできる実践的な教育をする必要があると考える。キャンプなどアウトドア技術を通して疑似避難に楽しく自活できる技能指導などがあると良いし、できればそこに地域高齢者などが参加、古い知識の伝授など実際にそばにいる人との関係構築なども合わせることができれば良いと思う。
- ・ 地域の共通テーマについて論じあう場に参加してみたい。  
また、移民2世や貧困家庭など、日本語が苦手あるいは学習環境に恵まれていない子どもたちに、行政主催のもと、地域住民でフォローできる場があるとよい。

### 【その他】

- ・ 座学であれ運動であれ、やり方次第でどのようなコンテンツでも幅広い世代との交流・活動が望めると思う。大人にとっては趣味・子どもにとっては遊びになるような活動を通して、年齢問わず礼儀や思いやり、努力や挫折、成功体験など、様々な学びを得ることができたら理想だなと個人的には考える。
- ・ 武道やそれに準ずるものの経験があり、いずれも同じ空間で幅広い世代が技術的な学びを共有していたが、練習は一步間違えれば大けがにもつながるため、一緒に練習する相手や仲間ときちんと信頼関係を大切にし、教える側に対しても教わる側に対してもしっかりと思いやりとリスペクトがあり、学校や職場とは性質的に全く異なる人間関係を築くことができていた。
- ・ 武道でなくてもスポーツや裁縫といった文化部的な活動でももちろんかまわないが、教わる側(生徒側)の年齢層が多様である環境はとて面白いと思う。
- ・ 全くわからない。

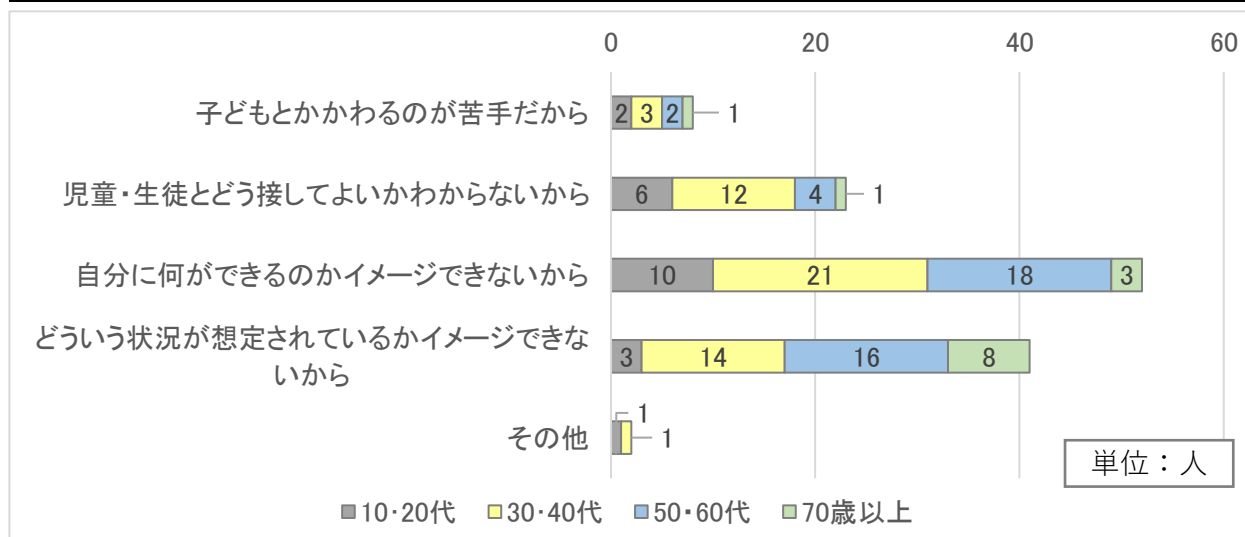
問8-2 (問8で「関心がない」または「3 分わからない」と回答した方へ)  
その理由は何ですか。(該当するものすべてに○)

n= 83

	全体		10・20代	30・40代	50・60代	70歳以上
子どもとかかわるのが苦手だから	8	4.7%	2	3	2	1
児童・生徒とどう接してよいかわからないから	23	13.5%	6	12	4	1
自分に何ができるのかイメージできないから	52	30.4%	10	21	18	3
どういう状況が想定されているかイメージできないから	41	24.0%	3	14	16	8
その他	2	1.2%	1	1	0	0

その他:

- ・私自身が持つ技術によって辛い思いを一杯しているため、同じ思いをして欲しくないから。
- ・そのような活動にメリットがあると思えないから。



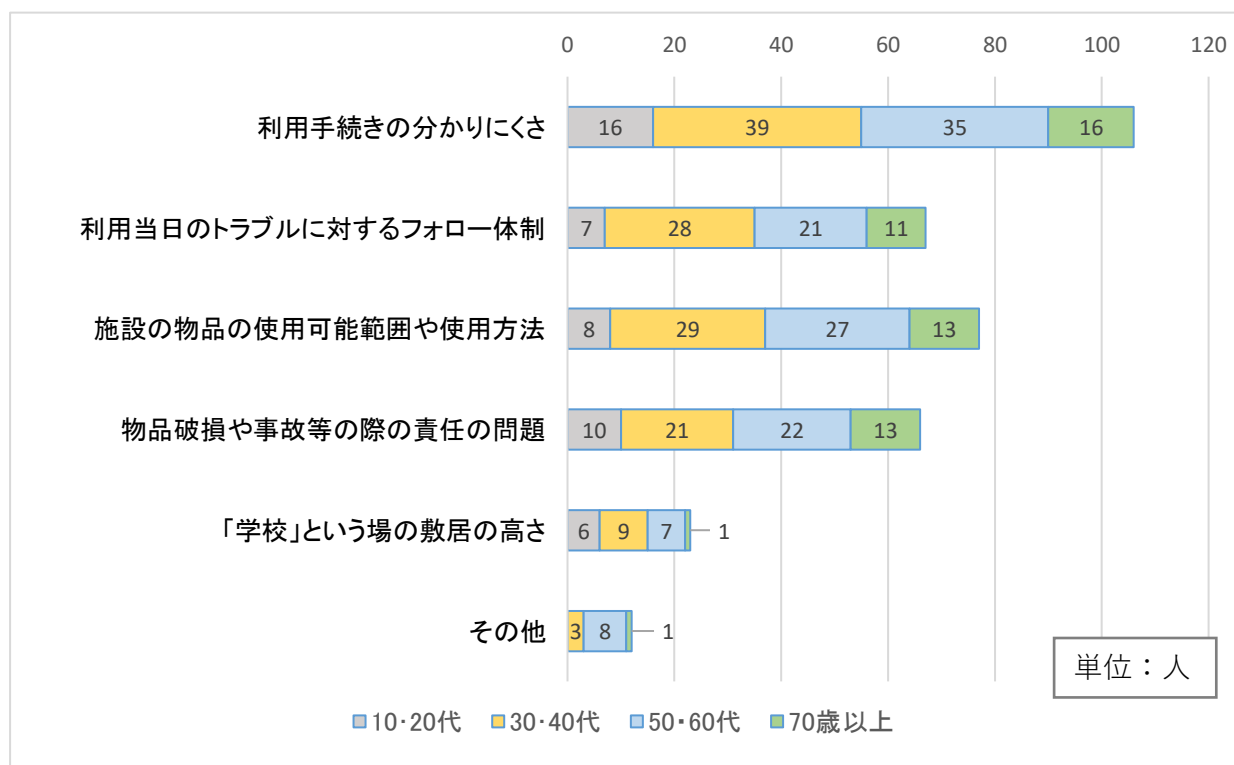
問9 学校施設を利用するにあたって、心配なこと、不安に感じることは何ですか。  
(該当するものがあればすべてに○)

n= 171

	全体		10・20代	30・40代	50・60代	70歳以上
利用手続きの分かりにくさ	106	62.0%	16	39	35	16
利用当日のトラブルに対するフォロー体制	67	39.2%	7	28	21	11
施設の物品の使用可能範囲や使用方法	77	45.0%	8	29	27	13
物品破損や事故等の際の責任の問題	66	38.6%	10	21	22	13
「学校」という場の敷居の高さ	23	13.5%	6	9	7	1
その他	12	7.0%	0	3	8	1

その他:

- ・手続きの困難さ(他1件)
- ・利用者のマナー
- ・それぞれの施設の使い方が異なるとやりにくい。
- ・入校管理の管理体制、費用
- ・いつも特定のクラブが利用していて、使えない。
- ・区立学校の本来用途に支障をきたすような施設物品の使用とともに、生徒の個人情報にアクセスできてしまわないか。
- ・トイレを使用しづらさや多目的トイレの有無
- ・安全性
- ・学校施設が一般でも使えるということをそもそも知らなかったので、心配や不安が想定できない。



## 問10「学びのプラットフォーム」に対してご意見、ご要望があれば、ご自由にお書きください。 (自由記述)

### 【学びのプラットフォームについて】

- ・そもそも「学びのプラットフォーム」が何なのか分からない。  
児童生徒やバリアフリーの恩恵のある高齢者や障害者などがターゲット層で、健常な働き世代はターゲット層ではないように読み取れるので、正直なところ自分にはあまり関係のないことのように感じる。
- ・横文字を使う意図がわからない。内容を分かりにくくしているの、日本語で表記すべき。そして、何を目的としているのかを明確にすべき。
- ・関心はありますが、まだ具体的に何に取り組むのかが明確でないように思うので、より詳細なプランの情報がほしいです。図書館・公民館などの社会教育施設とどのように差別化されるのかも気になる。

### 【情報発信の必要性や方法について】

- ・学校は今では部外者はほとんど立ち入り禁止のイメージがあり、利用できる事を知らなかった。区報などでもっと頻繁にお知らせを出して欲しい。すでにやっている講座などあったらそれを知りたい。
- ・何かを開催するという情報自体を得る方法がホームページやSNS等のネットでは得にくい人が大勢いる。申し込みもネットは便利かもしれないが苦手意識のある人はあきらめてしまう。
- ・外出、買い物等で出たついでに近くで区の情報を得られる所、つい寄ってみたいくなる所、気軽に立ち寄れる情報を得、質問ができ、申し込みもできるところがあれば良いと思う。
- ・地域における活動は年々薄れており、類似の家庭環境でないとなりにくい状況となっている。そういった意味において学びのプラットフォームが整備され、多様な交流・体験・学習活動やコミュニティ活動を通して、子どもも大人も含めた多世代の「学び合い」「教え合い」「かかわり合い」に繋がっていくような場があれば縦横斜めの繋がりができ、地域の活性化が進む事が考えられる。
- ・地域の学校と関わることがほぼなく、利用できることもそもそも知らなかった。また、どのような活動で使えるのか。活動しているサークル等の詳細を知りたく、少しインターネットで調べてみるも辿り着けず、正直よくわからない。
- ・こうした試みでは利用者へのどれだけサービスの周知ができるかが非常に重要。こどもをターゲットにするのであれば保育施設や学校、大人へはSNS、高齢者へはチラシや地域掲示板など、扱うコンテンツに応じて利用者へより効率よくアプローチできる経路を構築していただけることに期待する。また経路だけでなく、「ここを見れば区のいろんな情報がわかやすくまとまっている(時期別、コンテンツ別、など)」といった場所がオンライン上などにあるととてもうれしい。
- ・書類申請の手続きをわかりやすくし、WEBで簡単迅速に完結するようにしてもらいたい。区役所に行くなどの手間を省き、誰でも簡単に区民が空き枠などもWEBで確認できる開かれた資産であってほしい。
- ・行政主導でプラットフォームを作るのは簡単であるが、どのようなコンテンツが望まれているかを知ることが難しい。特に世代間で考え方が異なるので、行政で主導的な年齢層の考えるコンテンツと若い世代が考えるコンテンツにはかなり相違があるので、それをどう掘り出し実装するかが一番重要な課題であると思われる。また、使用するメディアもかなり異なるので、それに対する対応も重要である。
- ・昨年、高円寺のゆうゆう館に就業相談に伺った際、様々な講座やイベントがある事を知った。区全体で情報を取りまとめ、利用者が各所の情報を得られるアプリ等は出来ないものだろうか。  
年齢や興味の対象、居住地等を入力していくと、お勧めの講座やイベントが表示されるような。

### 【有効活用には賛成】

- ・児童が帰った後のスペースの有効活用はすべきだと思う。  
学童に一般の大人が混じり合って、学びが得られるようなことができると思う。
- ・学校は教育の重要な施設ではありますが、教育に影響がない範囲で地域活動に活用することは、よいことだと思う。
- ・高齢化社会になって行き、家から出る機会も少なくなりそうで、区民が利用できる施設として、馴染みのある学校は安心感があるので活用したい。

### 【管理面の課題】

- ・学校施設に不審者の侵入を絶対に許さないセキュリティの仕組みも同時に構築しなければならないと思う。不審者対策・安全面・戸締り等管理、盗撮や不審物の設置など。コロナ対策。
- ・色々な方が活動できる場所は必要だと思うが、学校施設の利用についてはあまり賛成できない。子供達の学びの場は子供達最優先でお願いしたい。
- ・せつかくの施設を有効活用することは大いに賛成だが、学校の教職員の方に教育以外に負担がかからないことが大前提と考える。

## 【推進に賛成意見】

- ・大人から子供への方向性でなく、子供から大人への方向(学び、遊び、など)もあっていいと思う。特に、大人のうち高齢者への方向・参加が、健康支援(保険料負担の軽減)や見守りにもつながるし、子供の参加をしっかりとした体制で行えるなら、働く親御さんへの支援にもつながると考える。人の目がある・つながりがある・集いがあるという状態が、健全なまちづくりそのものであると考える。
- ・若い区民がもっと気軽に母校を訪問できるようになるといいと思う。
- ・自分の経験が活かせるのであればお役に立ちたいし、若い世代の方々からいろいろ教えていただきたいと思う。
- ・先生任せにせず、もっと気楽に地域の大人たちを活用できるよう、行政も考え実行して欲しい。
- ・勉強も邪魔にならない時間(放課後等)を利用して同じ場所で同じ目的で何かを活動することによって、子世代と大人世代の交わりが出来る気がする。元気な高齢者、何かお役に立ちたいと考えている高齢者は本当に多い。でも、そのチャンスが見当たらない。学童施設とまでいなくても学校で子供達と交わり働く両親を助けることも出来る気がする。色々方法等を考えていけば学童の代わりにすることも可ではないか。
- ・今後少子高齢化が加速する中、必要な施策だと思う。
- ・海外からの留学生、技能実習生、高度人材の流入が進むにつれて、対応家族含めた日本語教育、学校教育の場が益々必要とされてくる。国籍や生活習慣・価値観等の多様化を見据えたプラットフォームの提供、活動プログラムの内容拡充が重要な課題と思量する。
- ・近所の方のお顔はなんとなく知っているけど、何かあった時に積極的にコミュニケーションがとれるまでの関係性にはなれていないので、こういった場で関係性を深められると良いと思う。
- ・学校現場で何を求めているか、どのようなスキルを求めているか開示してみてもどうか。具体的でなくても、課題でも期待でも出していただくことで、区民にも「この課題であれば役に立てるかも」という風に思う。
- ・学びは大事だとは思いますがそもそも児童や生徒に自信をもって教えられるほどの経験、知識、技術を持った人材がどれほどいるのか疑問。かなり限られると思う。また上記のような人たちはすでに何らかの形で地域にかかわっている場合も多いのではないかと。その輪に入りたいけど入れない、または外れた人達をいかにコミュニティに参加させるかが重要だ。そのためにまずはリスクリングの方に力を入れたほうが良いのではないかと。上の世代(教える側)の学びに対するハードルを下げてからでないと人に教えることもできないし、多世代ならぬ他世代から自分にはないものを吸収しようという気持ちにはならないと思う。これこそが学び合いです。この意識を変えない限りは本当の意味での学びのプラットフォームにはならない。学校施設を使うこと自体が目的になってはいけない。

## 【みんなが気軽に】

- ・子どもも大人も含めた多世代の「学び合い」「教え合い」「かかわり合い」という内容がとても良いと思った。興味の持てるテーマでまずは自分が生徒として参加して見たいと思った。
- ・多世代交流・学びに参加したい気持ちはあるが、そのようなイベントはたいてい親子とシニア向けで、独身の現役会社員が一人で参加できる雰囲気ではないというイメージがある。
- ・ジェンダーフリーで沢山の人が集まれるのが良いと思う。身近なところから、みんなで参加出来るということが、一番大切だと感じる。
- ・「学び」といってもその地域ごとに特色があると思うので、杉並区ならではの取り組みができるよう努力してほしい。
- ・音楽室等の校舎内の施設も利用できることは、知らなかった。交通の便が良いJR高円寺駅周辺には、広い施設がないため、どうしても講座関係は交通の便がやや悪い大きな施設になってしまうのだと思う。学校を活用できるのなら、例えば駅から近い高円寺学園などの体育館、音楽室、家庭科室等は勤め人向けの夜間講座に利用できると良いと思う。
- ・このアンケートで、自分自身の技術や知識を共有するのではなく、こういった取り組みの上で行われているワークショップ等に積極的に参加したいと感じた。スケジュールや申込方法が閲覧出来る掲出物(HPや掲示板)をどこで目にする事が出来るのか、わかり易くしても良いのではと思った。
- ・長い人生を有意義に健康に過ごすためには、今回テーマに挙げていただいた“互いに”“関わり合う”ことが必要不可欠であることに、今更ですが気付いた。日本人は「私なんて」と謙虚に考えるかたが多いと思っている。そして私自身も、まさか自分が教える側にまわるなど考えたこともなかったが、教えることで自己肯定感も得られ良いことだと思った。
- ・学びをしたい人もいればそうでない人もいる。コミュニティ活動が好きな人もいれば個人が好きな人もいる。自分らしく豊かに生きるということがどうゆうことなのかは、人それぞれ違うと思う。「学び合い」「教え合い」「かかわり合い」それが自分らしく豊かに生きるためになるという考えを一方向的に押し付けてはならないと思う。また、偏った考えのもと「学びのプラットホーム」の活用を推進することには疑問を持つ。



- ・個人的にはカルチャースクール的なものに興味があるが、世間一般では就労に役立つようなもの(リスキリングと呼ばれるような、資格取得などに関するもの)の需要が高いかもしれない。付近の居住者の年齢や職業の分布によってニーズが違つかもしれないので、提供可能な学びと、住民のニーズのマッチングは充分調査・検討してほしいと思う。
- ・利用したいと考える方々へ一歩踏み出してもらうためのガイダンス(講習会)を開催してはどうか。その場で同じような考えを持つ方々との交流が生まれ、具体策が進みやすくなると思う。

### 【活動内容の例示】

- ・歴史の講座など教養的なこと、ボランティアにつながること、スポーツ、などいいと思う。
- ・個人的には音楽に興味があり、色々な楽器を試してみられたら嬉しい。
- ・高齢者のITに関して気軽な学びの場があれば良い。
- ・学校や学習塾における教育だけでなく、教育のサードプレイスのような形で地域教育ができると、杉並区に住んでいることへの愛着、地域活性化や区の特色づくりになるのではないか。
- ・近所の公園で、たこ挙げをしているおじさんがいて、子どもたちが集まってくるとたこ挙げをやらせてあげたりしてよい機会に感じた。
- ・私自身は(あくまで趣味の範囲で)絵を描いたり制作をすることや、語学を学ぶ(英語、中国語、韓国語)ことが好きで、それらを誰かと一緒に行くことについては興味がある。
  - ・「読み聞かせが得意な人による、又吉直樹さんの『火花』の朗読会」等の、得意な人は活かして自信になりまた他の学び分野にも興味がわき、朗読を聞いた人は作家や作品を知れ、かつつながりを持てるイベントがあるといいなと思った。

### 【その他】

- ・以前住んでいた地域では、校庭や体育館をサッカーやソフトボール、空手などで使用する以外に学校内に高齢の方が集まるサロンのような空き教室を利用した部屋があった。高齢者同士のコミュニケーションの場としてだけでなく、主に学童保育の小学生が放課後遊びに来たりして異年齢交流が行われていたことがとても印象に残っている。
- ・もし小学校の教室利用ですと、大人が小学校の机と椅子ですごすのは少しきついのもかもしれない。
- ・不登校児童に学校の枠を外し、学び楽しめる場を設ける。
- ・おやじの会などのイベントで利用しているが、緊急医療体制などで看護師などの手配に苦慮することがある。そのような人員が登録などボランティアとして把握できるような物があると便利と思う。
- ・安全面が確保され教員の負担を増やさずに可能なら、保護者でない大人の授業参観を実施して欲しい。
- ・子育てに関心がでてきた時代であるが、赤ちゃんから、いきなり受験競争の中学に関心が向く。子どもは赤ちゃんを見る機会も少ない。10歳くらいに自分の赤ちゃん時代を省みて、地域の赤ちゃんの成長・発達を楽しみ、学んで接してほしい。
- ・本当にやる気のある、関心のある子どもや大人を集めないと、ただの雑談の場になると思う。次も来たいと思わせる何かがないと難しいのでは。講師のような立場の方は、完全ボランティアだといろいろ厳しいだろうか。



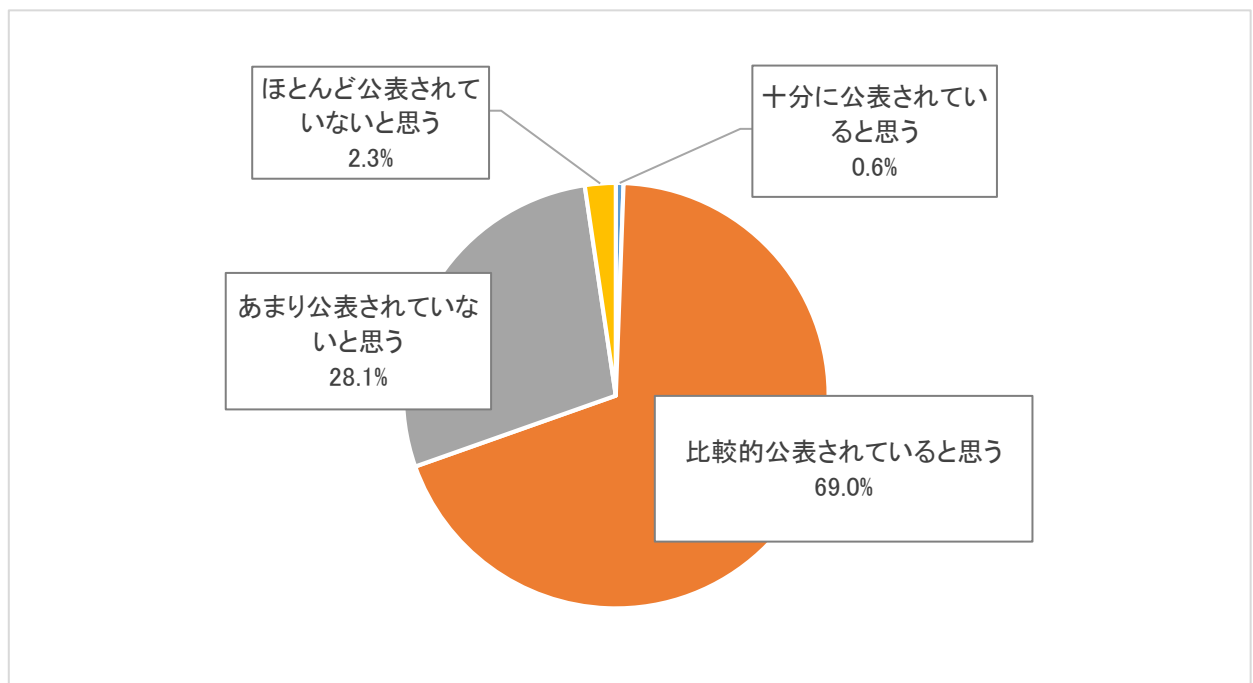
◇《情報の公表》について

問11 あなたは現在、区政情報がどの程度公表されていると思いますか。  
(○は1つだけ)

必須

n= 171

	全体		10・20代	30・40代	50・60代	70歳以上
十分に公表されていると思う	1	0.6%	0	0	1	0
比較的公表されていると思う	118	69.0%	17	47	40	14
あまり公表されていないと思う	48	28.1%	5	14	16	13
ほとんど公表されていないと思う	4	2.3%	1	2	1	0
合 計	171	100%	23	63	58	27

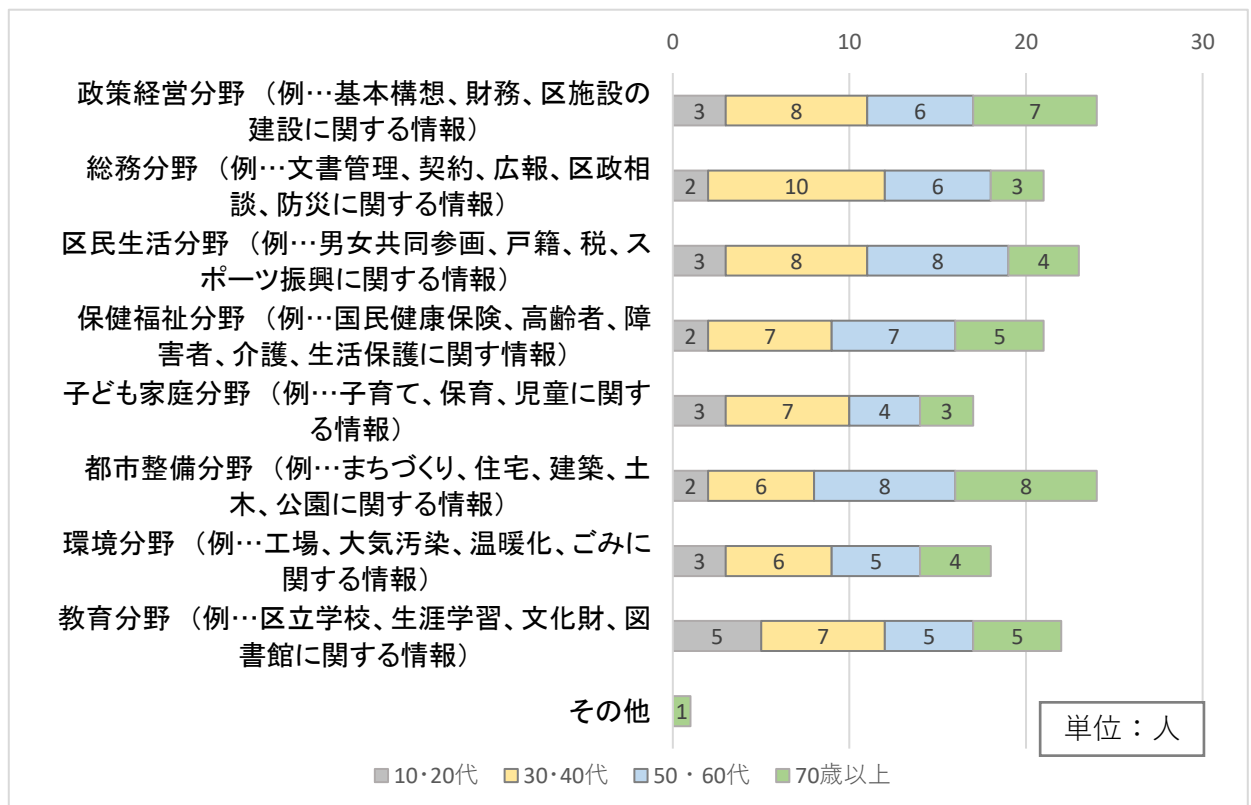


問12 問11で「あまり公表されていないと思う」または「ほとんど公表されていないと思う」と回答した方へ  
 どの分野の情報を現状よりも公表すべきだと思いますか。(該当するものすべてに○)

n= 52

	全体		10・20代	30・40代	50・60代	70歳以上
政策経営分野（例…基本構想、財務、区施設の建設に関する情報）	24	46.2%	3	8	6	7
総務分野（例…文書管理、契約、広報、区政相談、防災に関する情報）	21	40.4%	2	10	6	3
区民生活分野（例…男女共同参画、戸籍、税、スポーツ振興に関する情報）	23	44.2%	3	8	8	4
保健福祉分野（例…国民健康保険、高齢者、障害者、介護、生活保護に関する情報）	21	40.4%	2	7	7	5
子ども家庭分野（例…子育て、保育、児童に関する情報）	17	32.7%	3	7	4	3
都市整備分野（例…まちづくり、住宅、建築、土木、公園に関する情報）	24	46.2%	2	6	8	8
環境分野（例…工場、大気汚染、温暖化、ごみに関する情報）	18	34.6%	3	6	5	4
教育分野（例…区立学校、生涯学習、文化財、図書館に関する情報）	22	42.3%	5	7	5	5
その他	1	1.9%	0	0	0	1

その他：高齢者にも理解しやすい情報提供



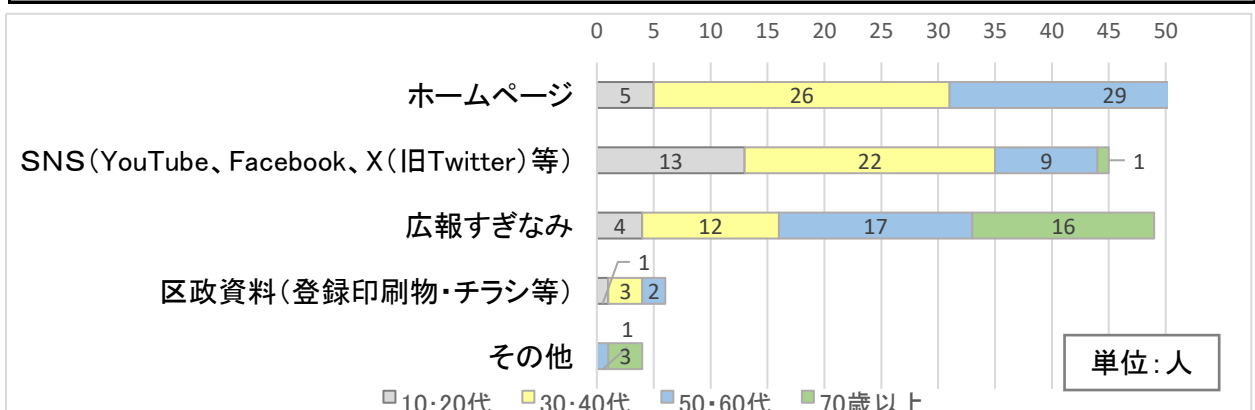
問13 区政情報について、最も充実させるべき公表の手段は、どのような手段だと思いますか。（○は1つだけ） 必須

n= 171

	全体		10・20代	30・40代	50・60代	70歳以上
ホームページ	67	39.2%	5	26	29	7
SNS(YouTube、Facebook、X(旧Twitter)等)	45	26.3%	13	22	9	1
広報すぎなみ	49	28.7%	4	12	17	16
区政資料(登録印刷物・チラシ等)	6	3.5%	1	3	2	0
その他	4	2.3%	0	0	1	3
合 計	171	100%	23	63	58	27

その他:

- ・昔の隣組のような形式か回覧板様式が良い。
- ・比較してみた事が少ないので評価出来ない。
- ・広報すぎなみでの情報提供の内容を見直し。
- ・広報すぎなみを入口にしてホームページ、SNSにつなげる、さらに深掘りするようにしていくとわかりやすいと思う。

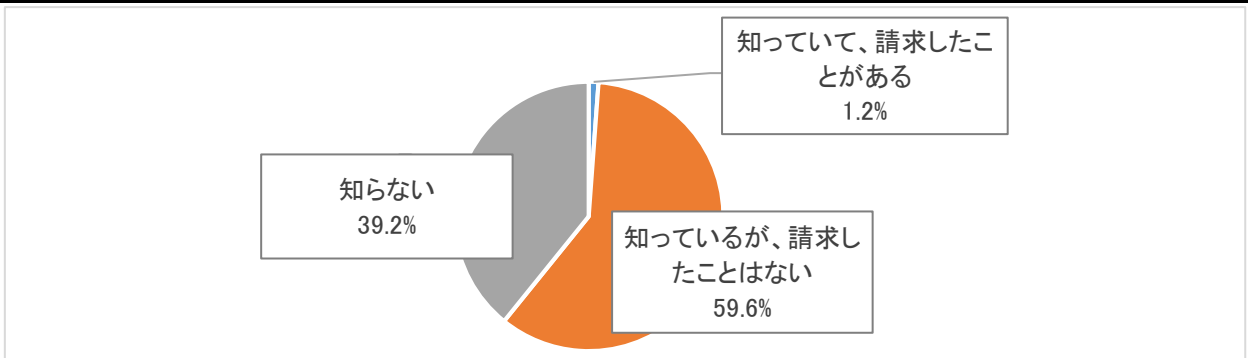


問14 あなたは情報公開請求制度をご存知ですか。（○は1つだけ）

必須

n= 171

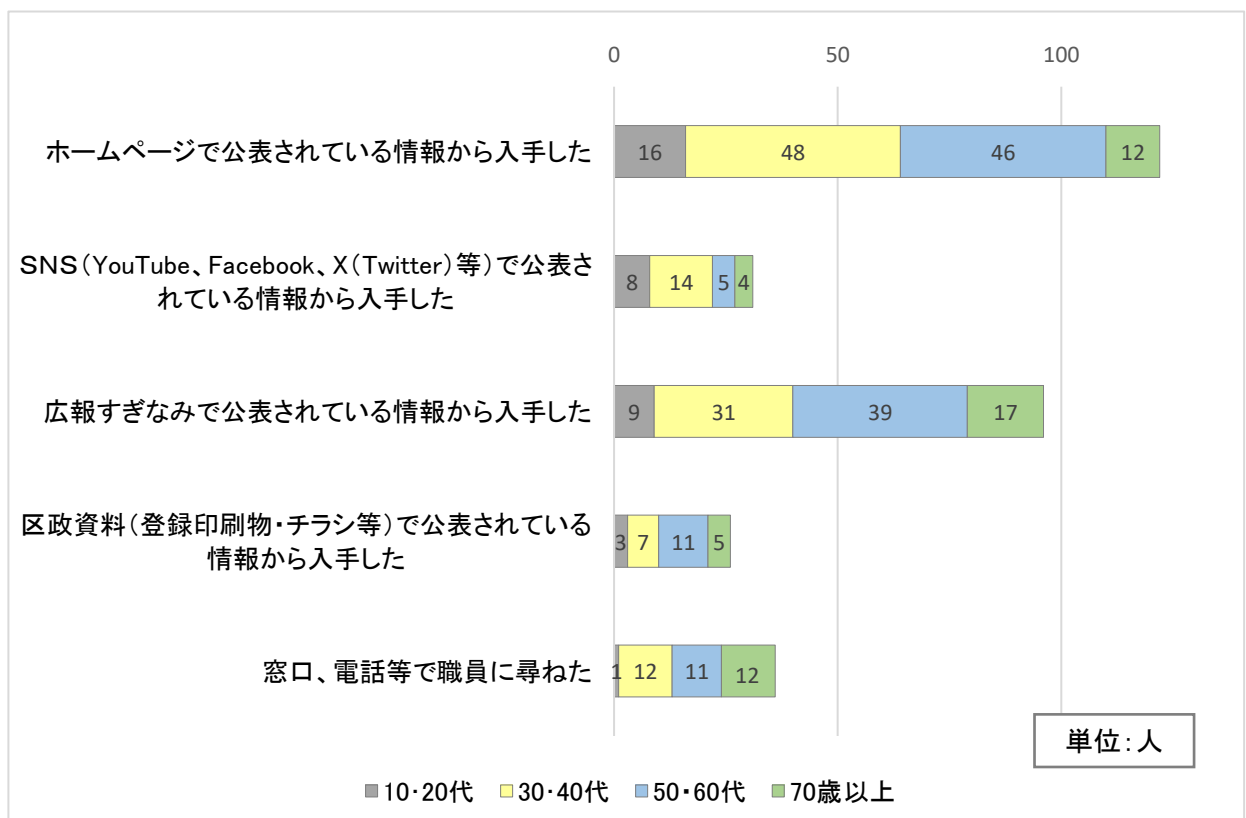
	全体		10・20代	30・40代	50・60代	70歳以上
知っていて、請求したことがある	2	1.2%	0	1	0	1
知っているが、請求したことはない	102	59.6%	12	32	41	17
知らない	67	39.2%	11	30	17	9
合 計	171	100%	23	63	58	27



問14-1 (問14で「知っているが、請求したことはない」または「知らない」と回答した方へ)  
 これまで区の情報を知りたいと思ったとき、どのような手段で情報を入手していましたか。(該当するものすべてに○)

n= 171

	全体		10・20代	30・40代	50・60代	70歳以上
ホームページで公表されている情報から入手した	122	71.3%	16	48	46	12
SNS(YouTube、Facebook、X(Twitter)等)で公表されている情報から入手した	31	18.1%	8	14	5	4
広報すぎなみで公表されている情報から入手した	96	56.1%	9	31	39	17
区政資料(登録印刷物・チラシ等)で公表されている情報から入手した	26	15.2%	3	7	11	5
窓口、電話等で職員に尋ねた	36	21.1%	1	12	11	12



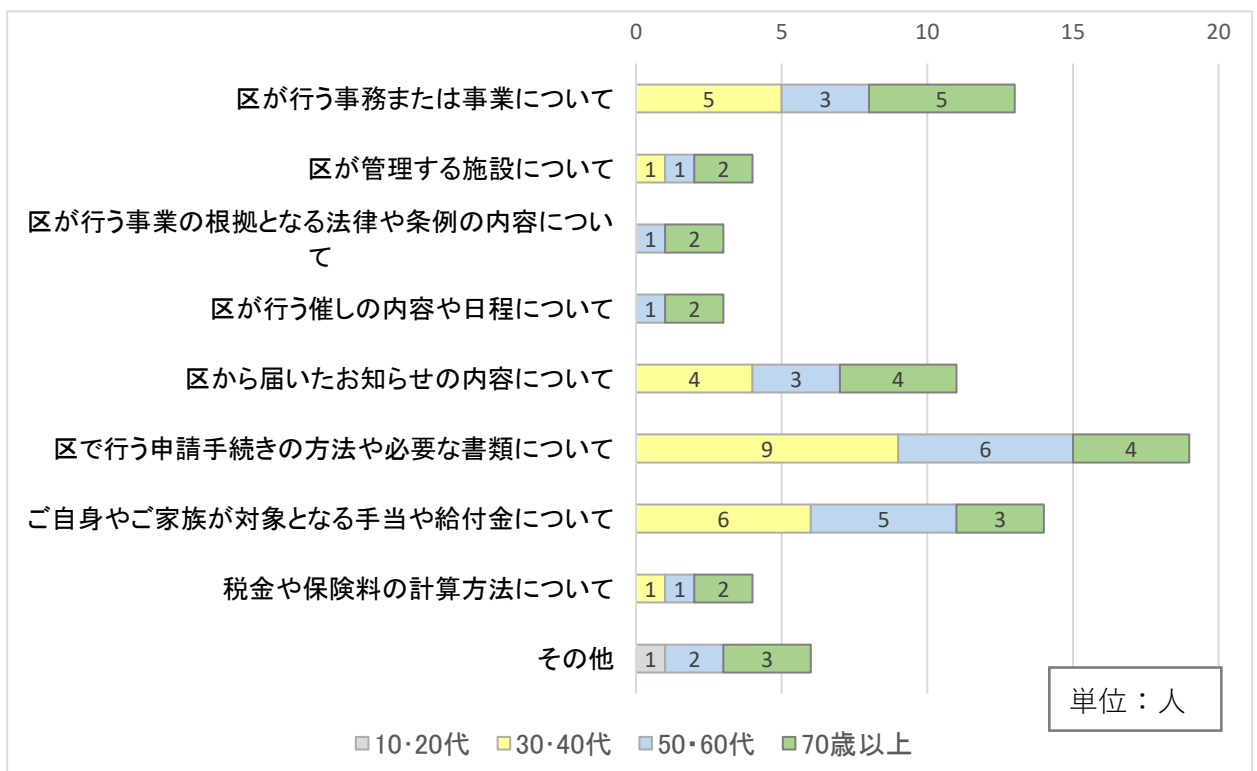
問14-2 問14-1で「窓口、電話等で職員に尋ねた」と回答した方は、どのようなことをお尋ねになりましたか。（該当するものすべてに○）

n= 36

	全体		10・20代	30・40代	50・60代	70歳以上
区が行う事務または事業について	13	36.1%	0	5	3	5
区が管理する施設について	4	11.1%	0	1	1	2
区が行う事業の根拠となる法律や条例の内容について	3	8.3%	0	0	1	2
区が行う催しの内容や日程について	3	8.3%	0	0	1	2
区から届いたお知らせの内容について	11	30.6%	0	4	3	4
区で行う申請手続きの方法や必要な書類について	19	52.8%	0	9	6	4
ご自身やご家族が対象となる手当や給付金について	14	38.9%	0	6	5	3
税金や保険料の計算方法について	4	11.1%	0	1	1	2
その他	6	16.7%	1	0	2	3

その他:

- ・道路の管理などについて
- ・防災関係の情報照会
- ・子宮頸がんワクチンについて、接種方法と受けられる場所(20代女性のために聴取)
- ・課税課職員の知識が高く親切だった。
- ・区民税支払い時の領収書に不備があり、電話で問い合わせた。
- ・区のイベントの問い合わせをした。
- ・ゴミ収集の当番制について



問14-3（問14-2で選択した、お尋ねになった内容を差支えない範囲で教えてください。）

回答例:「子育て応援券」制度の詳細について興味があったので、尋ねたことがある。

荻窪体育館の利用時間、申込方法について、尋ねたことがある。

「〇〇補助金」の対象に自分が該当するか尋ねたことがある。・・・など

#### 【区民生活部に関すること】

- ・ワンストップで区役所に行かず出来る方法
- ・各種行政手続きについて
- ・ふるさと納税の限度額
- ・休日の区役所の窓口の受付が場所によって違うので、何時から何時までどこが開いているのか。
- ・母のスマホでのマイナンバーカードの登録と紐付けについて区役所で聞ける窓口があるか
- ・マイナンバーカード手続き、健康保険切り換え条件等
- ・マイナポイントの申請方法
- ・区民税の支払い書類に受領印が押されておらず(コンビニ支払い)、年末調整の手続きについて
- ・住民税非課税世帯に関する生活支援金について
- ・お知らせがきた助成金制度の該当者かどうか(収入、扶養家族人数、扶養から外れたタイミングなど)をウェブサイトを確認
- ・就労支援(施設窓口、種別)
- ・ボランティアについて
- ・杉並区のまちづくり、今後の公共事業の予定やその内容について
- ・参加型コミュニティ(種別)
- ・西荻窪の祭りだった「小原の風」を廃止した理由
- ・なみすけに会えるイベント情報
- ・区民センターの講座の予定
- ・区内で実施されている活動など
- ・さざんかネットに関して
- ・地域クーポンの活用方法や申し込み、使える場所や電子クーポンと紙クーポンの違いなど
- ・体育館等体育に関する施設や事業の情報(他3件)
- ・夏に区民プールの混み具合を電話で

#### 【保健福祉部に関すること】

- ・国民健康保険の申込み手続きについて
- ・高齢者の利用施設について
- ・介護、障害者認定について
- ・指定難病医療助成金、障害者手帳
- ・障害福祉の情報について、厚労省の通達が区の障害福祉施策に反映されているかを確認しました。調査しますという回答で、まだお返事がありません。
- ・带状疱疹の予防接種を受けるにあたって、自分の健康状態に照らしてどのようなことに注意すればよいか。
- ・区民健康診査について申請書をなくし再発行に関して
- ・コロナ流行時のワクチン情報などの入手(他4件)
- ・コロナ感染時の対応について(他3件)

#### 【子ども家庭部に関すること】

- ・引っ越してきた際の子供の転入保育探しについて
- ・保育園の申し込み、申請書の記入方法等について(他3件)
- ・子供に関する助成金や緊急時の預入先などをHPで調べた。
- ・「子育て応援券」制度(他1件)、「幼児無償化」について伺ったことがある。

- ・ 杉並区にベビーシッター補助が適用されるかの確認等
- ・ 子供に関する申請書類について(他3件)
- ・ 子ども食堂の食料寄付について尋ねたことがある。
- ・ 児童館廃止／存続についての、各議員、行政の立場
- ・ 両親学級の開催日時
- ・ 子育て関連の情報についてHPを利用した。(他1件)
- ・ 子供の成長を促すイベントの開催状況について興味があり、情報収集したことがある。

#### 【都市整備部に関すること】

- ・ 公園を利用する方のマナーについて(犬のフンの放置など)
- ・ 暗渠について
- ・ 井荻緑道が昨今、ミニ開発や個人の勝手な違法建築により寸断されつつある事に対するの質問
- ・ 浜田山駅南口改札に関しての実態
- ・ 家の前の区道が急な坂で、人身事故や車のスリップによる物損事故が幾度もあるのでその対応
- ・ 測量図について相手の測量会社とのやり取りで、不明な点を質問をした。
- ・ 自転車ヘルメット補助金の有無
- ・ 電動自転車やソーラーパネル等
- ・ 持ち家関連の補助金についても同様にHPを利用
- ・ 区営住宅(制度や条件)
- ・ 区の保護樹木の制度について区のウェブサイト経由で

#### 【環境部に関すること】

- ・ エコチャレンジの用紙がどこで手に入るか、なるべく近所で手に入れたいと思い電話した。
- ・ 東京都の家電購入支援について区の対応を問い合わせた。
- ・ 給湯器の補助金について
- ・ 家庭用生ごみ処理機補助金の制度詳細(他1件)
- ・ ゴミ収集について、地域で当番制になっているが、そのルールと根拠
- ・ ごみの出し方
- ・ 粗大ごみの出し方

#### 【教育委員会事務局に関すること】

- ・ 中学生の派遣事業
- ・ 大人塾での講座企画。
- ・ 図書館蔵書の充実に関して意見を申し述べる事
- ・ 図書館について
- ・ 小学校のプールの外部使用について調べた。

#### 【その他に関すること】

- ・ 災害時の区による支援制度(都との役割分担)の現状について(マンションにおける対策を検討する際の関連情報として照会した)
- ・ 求人情報やモニター募集
- ・ 荻窪税務署に所得税の修正申告を提出して2週間後、修正申告のデータを杉並区がすでに入手して、住民税や介護保険料の見直しをしているか。
- ・ 補助金について検索した事あり。
- ・ 地方で緊急入院の後、東京の病院に移動のため、私設救急車を依頼しなければならなかったため、その費用の援助があるか。
- ・ 区議会議員がどのような質問を議会で行っているのか。
- ・ 広報すぎなみはどこで手にはいるか。近くで簡単に手にいれる方法。
- ・ 区政モニターアンケートについて(2件)

令和5年度第2回  
杉並区区政モニターアンケート  
集計結果報告書

登録印刷物番号

05-0038(2)

令和5年11月発行

編集・発行

杉並区総務部区政相談課

〒166-8570

杉並区阿佐谷南1-15-1

☆杉並区のホームページでご覧になれます。

<https://www.city.suginami.tokyo.jp/kusei/koho/kocho/1012817.html>